

平成 29 年 8 月 10 日

各 位

株 式 会 社 北 都 銀 行

～道の駅なかせんのおかき工場を再利用、農業者のトマトジュース工場の立ち上げを支援～
日本政策金融公庫秋田支店との連携による融資支援

株式会社 北都銀行(頭取 斉藤 永吉、以下「弊社」)は、日本政策金融公庫(以下、日本公庫)秋田支店農林水産事業と連携し、新規にジュース工場を立ち上げる合同会社ダイセン創農(秋田県大仙市、鈴木富士子代表社員、以下「ダイセン創農」)に対し、融資支援を下記の通り実施しましたので、お知らせします。

<ポイント>

○ 農業者が地元産ジュース工場を立上げ

ダイセン創農は、加工用トマトの生産からジュース製造を行う法人として、飲料製造会社での勤務経験がある方々を中心に平成 27 年 4 月に設立されました。トマトジュースの原料を生産者の顔が見える自社生産及び契約栽培者による大仙市中仙地域産に限定することで大手メーカーとの差別化を図ることが可能と考え、道の駅なかせんの遊休おかき工場を再利用し、平成 29 年 7 月にトマトジュースを中心としたジュース工場を立ち上げました。

○ 大仙市・北都銀行・日本公庫が連携して事業立ち上げを支援

今回の事業に、大仙市が補助事業(産地パワーアップ事業)の活用で支援するほか、弊社と日本公庫が連携し、事業立ち上げに必要な資金について、それぞれ弊社の農業近代化資金(1.2 億円)、日本公庫のスーパーL 資金(1 億円)を融資し、官民一体となって事業立ち上げを支援しました。

○ 今後の事業展開への支援

弊社は、お取引先企業の資金ニーズへの対応に終わらない、本質的な課題や悩みの解決策を提案していくことこそが、地域金融機関の本来の使命との認識の下、今後の事業展開により、新たに発生する資金ニーズへの金融支援のみならず、パートナー企業のあきた食彩プロデュース(株)との連携により、県内のみならず県外・海外への販路開拓をサポートしてまいります。

(次ページに続く)

《本件に関するお問い合わせ先》
経営企画部広報室(担当:市田)(内線 3811)

NEWS RELEASE

【合同会社ダイセン創農の概要】

設 立：平成 27 年 4 月 6 日

業 種：加工用トマト、加工用メロンの生産

代 表 者：鈴木富士子

所 在 地：秋田県大仙市長野字高畑 95-1（道の駅なかせん内）

連 絡 先：0187-49-8250

特 徴：トマトジュースのほかトマトとりんごのミックスジュース、メロンジュースを製造。ジュース原料としている加工用品種「なつのしゅん」は生食用トマトよりもリコピン含有量が高いため、一個（150g）の飲用で成人一日分のリコピン（20mg）以上の摂取が可能。工場はオープンファクトリー形式で、一般消費者の見学受入を随時実施する予定。

（工場外観）



（工場内部）



（ジュース製品）



以 上